# 協働学習 支援ツール 【中・数学】

# 一覧表示機能、ファイル共有機能

## 中学校 第2学年 数学「比例と反比例」

- (I) ねらい 行列の待ち時間を考える活動を通して、関数の関係にある数量を見いだし、その関係を比例とみなせばよ いことに気付き、表、式、グラフを関連付けながら、待ち時間の求め方を説明することができる。
- (2) 評価規準 関数関係にある2つの数量に着目し、その関係が比例であるとみなして、表・式・グラフなどに表し、待ち時間の求め方を説明することができる。(思考・判断・表現)
- (3) 学習展開 (10/22)

## 

- ・「買うことができた時間」は「買うことができた人数」に比例しているとみなせば、 待ち時間が予想できそうなことを確認する。
- 2 課題

比例とみなして考え、表、式、グラフから待ち時間を予想しよう

- ・買うことができた人数をェ人、買うために必要な時間をy秒として考える。
- 3 個人追及する。

式 5分で8人が買い終わるから、yはxに比例しているとみなして考えて $y=\alpha$ 8=5a43かさんは20番目に並んでいるから $y=\frac{5}{8}$ ×20y=12.5だから 12分30秒

- 4 全体で話し合い、課題を解決する。
- ・表、式、グラフから、およその待ち時間が予測できることに気付く。
- ・比例とみなして考えることで、予想できそうなものがあるかを考える。
- 5 考えを深める。
- ・他の場面で、同じように考えて判断してみる。

問題 飛騨限定の商品が 100 個限定で販売された。並び始めた時は 70 番目だった。列が進み、先頭から 10 番目の人が買い終えた時に、「残り 85 個です。」とアナウンスされた。あなたは、このまま並ぶかどうかを判断しなさい。

6 まとめる。

2つの数量を比例とみなして考えることで予想できるものがある。

#### 教師の指導・援助(留意点)

#### 【ICT活用の工夫】

問題場面を把握しやすくなるよう、はるかさんが並び始めてから5分後までのシミュレーションを提示する。シミュレーションは、協働学習支援ツールの共有フォルダに保存し、生徒がいつでも見られるようにしておく。



#### 【ICT活用の工夫】

協働学習支援ツールの共有フォルダに、 グラフ用紙が添付しているページを準備 しておく。

・生徒が自分に適した学び方が選択できるようにするため、表やグラフなどはデジタルのものと紙媒体のものを準備しておく。

### 【ICT活用の工夫】

一覧表示機能を活用し、発表する生徒の 画面は、それぞれの生徒の端末上でも見





### 【ICT活用の工夫】

振返りシートは誰もが見られるように共 有化し、次時の導入時で提示し、学びが 『繋がっていけるようにする。

終